

天草椿油

むかしから、女性用の髪油として重宝されている「ツバキ油」の製造が、いま天草で盛んに行なわれている。

原料の天草椿は、天草全島から自生しているが、特に苓北町から天草町にかけての西海岸一帯に多い。

「ツバキ油」は、食用・薬用・刀剣類のさび止めなど用途は広いが、やはり本命は髪油。

いまはやりのカツラの普及や復古調も手使って、需要はふえる一方だ。

東京・名古屋・北九州へと、年間十八の缶で約四百缶出荷されているがみやげ品としても引っぱりだこで、素朴な椿の花の絵を焼き込んだ広山焼きの瓶詰めは、民芸調の味があつて、観光客の間でも好評だ。



△ここに人あり▽

人吉羽子板をつくる

★人吉市赤池原町

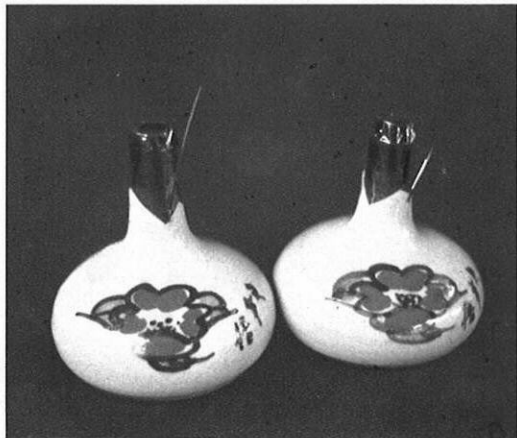
池口正樹さん

羽子板の中央に赤い椿の花と四枚の青葉。上と下に赤・白・黄色のたてじま模様。四つの原色で彩る人吉羽子板は素朴で美しい。昭和三十九年、年賀ハガキの図案に登場したことがあるので、ご記憶の方も多いただろう。

この人吉羽子板、いつの頃、誰がつくり出したものかさだかではないのだが、製作者の池口さん(六七)は次のように語る。

「人吉羽子板は、七百余年前、壇の浦の戦いに敗れ、九州相良まで落ちのびた平家の落人(おちうど)たちが、かつての都の生活をしのびながら、子供の玩具として手すきびにつくり出したものです。素朴な華やかさと寂しさが感じられる」と。

今日では、この池口さんの見方が大體定説になっている。平家の血をひくという妻の登美さんの祖母も作っていたということがある。昔は、絵つけも現在のよくな泥絵具ではなく、手近かに得られる草木を利用していたので、色もくすんで、しぶさがあつたそう。おそろく、昔の人は椿の赤や、くちなしの朱・草の青汁を求めて山にわけ入り谷川へ降りた

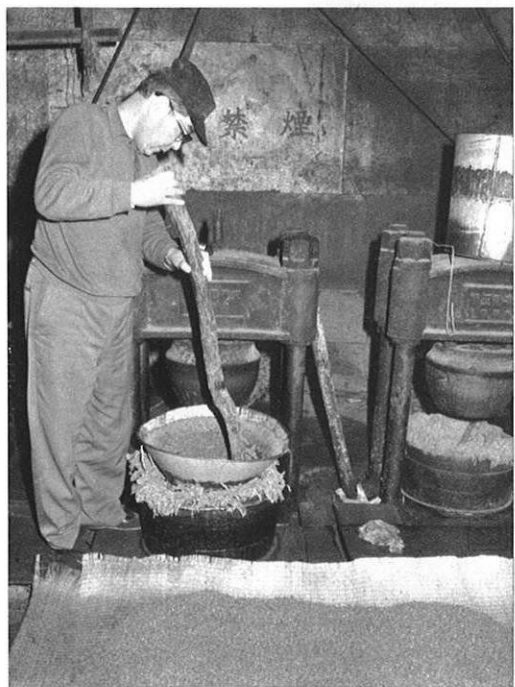


▲民芸調の花の絵柄の容器が捨てがたい南国情趣をそえている。



▲製品の箱づめ作業。県外からの注文も多いという。

▼椿の実を十分に乾燥させたあと、機械にかけて小さく砕く。



▲粉末を冷却し、釜の中で圧縮—精製された透明な黄金色の油が絞り出される。

ことである。

羽子板復興

こういう由緒ある人吉羽子板も、戦中から戦後にかけてさびれ、いつのまにかあとかたもなくなってしまう。それが、昭和三十五年の熊本国体を機会に、池口さんによって復興されることになるのだが、その時の思い出として、池口さんの仕事に対する執念を見ようという話がある。

トレードマークの椿の図柄は記憶をたどってほぼ間違いのないものができたが、上と下のたてじまの色合いがはっきりせず、池口さんは困り果てていた。そうしたある夜、妻の登美さんは、夢枕にいと鮮明に羽子板のたち並ぶ光景を見た。夫をゆり起こし、上下とも赤・白・黄色であったことを話した。「それだ、それだよ」と池口さんは夜明けが待ちきれず、すぐに試作にとりかかったという。

また、この羽子板復興への貢献とかねての労を多とし、製作者は登美さんの名を使つてあるが、これは池口さんの妻思いのやさしい一面でもある。

多芸の人

池口さんは、明治三十六年人吉市に生れた。子供の頃から絵が好きで、一時は画家を夢みて放浪の旅を続けたが、ある事情から叔父方の三代目仏師としての道歩むことになる。二十八歳のときのことが池口さんの本当の姿で、羽子板や獅子頭などの民芸品とともに名高い。

池口さんの住む瓢古(ひょうこ)庵は、人吉市郊外の山里にある。朝霧にか

すむあたり一帯は、まさしく墨絵の世界。四季の変化と情緒にあふれる自然のたたずまいはまた格別らしい。

ひまをみて近くの野や山を散策する池口さんは小柄だがいたって健康。球磨路に多く残る文化財を訪ねたり、息子さんとお孫さんのいる博多へ行くのも楽しみの一つだ。

そんなある日、水の手橋を歩いていると、球磨川下りの旅人が、池口さんの作った獅子頭をパクパクさせてはしゃぎながら、川を下って行った。「おい」と大声で呼びかけた。衝動にかられながら、その舟を見つめる池口さんは、懐しさと安らぎの気持ちで思わず涙ぐんでしまったという。

池口さんを語る場合、もう一つ忘れてならないものがある。近くの於鹿倉山(おかくらやま)でとれる肉のあつた竹

でつくるすばらしい於鹿倉細工(竹細工)のただ一人の伝承者であることだ。天覧、お買上げいただいた民芸品に劣らず、この於鹿倉細工も数々の栄光をもつ。

「適当な後継者がおれば教えておきた

いのだが……」と羽子板づくりの手を休めてちよっぴり寂しそう。

ことしの正月も、晴着を着た女の子たちが羽根をつけて遊ぶ風景が各地でみられた。手づくりのため、注文に応じきれず悲鳴をあげながらも「子供たちが喜んでくれると思うと、きついなどと言いたくない」「のんき者の私に罰が下つたみたいで」といいながら羽子板づくりに精を出す池口さんである。

